

## ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー(青森会場)

平成28年10月19日(水) 青森県総合社会教育センター 第1研修室

ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナーは、ボランティアに関わる職員の皆さんの専門性と資質の向上、ネットワークの構築を目的としたセミナーです。

今年度は、青森、八戸、弘前の県内3会場で開催しました。各会場とも講師に 青森大学社会学部 教授 榎引 素夫 氏をお迎えし、「地域課題克服のためのネットワークを広めよう!～人口減少・高齢化への適応に向けて～」と題して講義して頂きました。また、午後には市町村ボランティア担当者及び市町村社会福祉協議会職員の方々に事例発表をしていただき、その後の演習では参加者同士で情報交換をしながら交流を深めました。3会場あわせて70名が参加し、参加者の皆さんは真剣な表情でセミナーに臨んでいました。

### 1. 講義「地域課題克服のためのネットワークを広めよう!～人口減少・高齢化への適応に向けて～」 概要

#### ○「ネットワーク」について

- ・「ネットワーク」の言葉が持つニュアンスは、時代とともに変化してきている。
- ・かつては電話やファックス等が主であったが、現在は電子メール、インターネット(ブログ、電子掲示板)、SNSというように、着々と**モバイル化・多様化**してきている。
- ・**デジタル・ディバイド**(情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差)をどう克服するかが課題である。
- ・「ネットワーク」のベースは「**対話**」「**双方向**」「**対等**」である。情報通信機器のコードをつないだだけ、ファックスをPCに置き換えただけ(「受信」だけ)ではまずい。



【講師 榎引 素夫 氏】

#### ○青森県の現状と行方(人口)

- ・県人口のピークは1983年であり、今では1世代前である。
- ・21世紀以降、県人口は年1万5000人のペース(1日40人程度、1時間に2人弱)で減少している。
- ・**減少割合、流出割合は全国ワースト級**である。

#### ○青森県の現状と行方(高齢化・少子化)

- ・世代間で「所得格差」「情報格差」が広がっている。
- ・3人で1人の高齢者を支える「**騎馬戦型社会**」から、1人で1人の高齢者を支える「**肩車型社会**」へと移行しており、青森県はその先端にある。



【熱心に講義を聞く参加者の皆さん】

#### ○対処すべき地域課題

- ・人口が減ることよりも恐ろしいのは、「何もしない市民」が増えることである。
- ・「**地域参画総量**(住民が地域のことを自分事としてとらえ、地域を良くしようと取り組む量)」を上げることが重要であり、そのためには当事者感覚と当事者能力の双方を高める必要がある。

## 2. 事例発表

### ○むつ市市民協働まちづくり会議について

むつ市総務政策部市民連携課 主任主査 山崎 学 氏

- ・むつ市では、市民参画のもと協働で進めるまちづくりをどのように実施していくかを検討するため、平成24年に公募による市民の代表者で構成する「まちづくり会議」を立ち上げた。平成24年度から27年度まで、計46回の会議を重ねている。
- ・「まちづくり会議」では、Facebook ページの運営、ニュースレターの発行、「につぼん丸」歓迎プロジェクト、むつ市民歌「We are the むつ」の制作等、多数の事業を実施した。
- ・会議を経て、各種団体の情報収集、仲間づくり支援、SNSによる情報発信などを行う「市民協働まちづくりコーディネーター」が誕生した。



【むつ市役所：山崎 学 氏】

### ○愛の輪レクリエーション事業におけるネットワーク形成について

平川市社会福祉協議会 主査 佐藤 毅 信 氏

- ・愛の輪レクリエーション事業とは、障がい児(者)及びその家族、関係団体、ボランティアがレクリエーションを通じて交流することで、互いに親睦を図る事業である。県内8市4郡で実施している。
- ・参加した障がい児(者)からの「お客さん状態ではなく、自分たちにも事業当日に役割がほしい」という要望を受け、平川市では教育委員会(学校)、福祉課、ボランティア連絡協議会等で構成する実行委員会方式をとることにした。
- ・実行委員会が企画・運営することにより、①当事者の意見を集約できニーズに基づいた事業をすることができた。②参加団体が企画側に回ることで事業へのモチベーションや理解が向上した。③新たなネットワーク形成が図られた。等の成果がみられた。



【平川市社協：佐藤 毅 信 氏】

## 3. 演習「ネットワーク形成に向けて」

長期のボランティアスタッフを受け入れる場面を設定し、5人の候補者からグループの合意により採用者を2人決定する体験プログラムを実施しました。



【演習の様子①】



【演習の様子②】



【演習の様子③】

### 〈参加者のアンケートから〉

- ・学識者の方の説明を聞く機会があまりないため、大変貴重な情報を得ることができました。
- ・まちづくりに関するプロの視点からのお話を聞くことができ、事業に生かせると思いました。
- ・自分がこれまで考えていたことを具体的に示していただきました。
- ・事例発表の中での失敗談が参考になりました。
- ・交流が深まって良かったです。